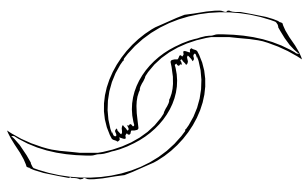


一人ひとりがそれぞれの個性や能力を活かし合い、共に生きる社会をつくるために



扉を開いて



北区男女共同参画推進ネットワーク会報

第90号

2025年7月24日

ねっとわーくの活動

議長を務めた「新日本婦人の会」の磯村さん



写真ではわかりませんが、総会資料の表紙は赤でした。

4月19日(土) 第31回定期総会



4月19日(土) 会員交流会



4月19日(土)・20日(日) 2025ねっとわーくまつり



ねっとわーくまつりの報告は、4～6ページ目に掲載しています。

定期総会で挨拶する大塚代表



日頃大変お世話になっております。今年度もおかげさまで「第31回定期総会」と「ねっとわーくまつり」を無事開催することができました。ちょうどJR改修工事のための電車運休と重なりましたが、たくさんの方々にお越しいただき、誠にありがとうございました。

男女共同参画推進に関わる人々の交流学習会「NWEFCフォーラム」を毎年開催している国立女性教育会館が、男女格差の解消や女性の経済的な自立などの支援強化のため、26年度には内閣府より「男女共同参画機構」に改組されるとの報道が3月にありました。「全国の男女共同参画センターとネットワークを形成し、地域の企業やNPO、学校との連携を促進。男女の賃金格差など、各地の課題を分析し、その結果をセンターや自治体に提供する体制を構築する」とのことです、どのように活動や関わりが変わっていくのか、注視していきたいと思っています。

『ねっとわーく』も様々な学習会や広報などを通し、今後もすべての人が等しく尊重される、豊かで暮らしやすい地域社会の実現を目指していく活動を行っていきます。チラシなどでお知らせいたしますので、ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

今年度も『ねっとわーく』への温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

25年度のスタートにあたり

代表 大塚 麻子

第31回定期総会報告



北区男女共同参画推進ネットワーク第31回定期総会を 2025年4月19日(土)の午前10時から午前10時40分まで開催しました。

議決権のある会員の総数87(団体会員27、個人会員60)に対して、出席34、委任状37の合計71により、総会は成立しました。

議長は団体会員「新日本婦人の会」の磯村優子さん、書記は青柳あけみさんと榎本文子さんが務めました。

以下の議案が提出され、そのすべてが承認されました。

第1号議案 2024年度事業報告

第2号議案 2024年度決算報告

第3号議案 2024年度会計監査報告

第4号議案 第16期運営委員・役員改選

第5号議案 2025年度事業計画案

第6号議案 2025年度予算案

第7号議案 会計監査選出

第4号ならびに第7号議案で選出された運営委員・役員、会計監査は下欄に掲載しています。

なお、この総会の議事録は、6月下旬に各会員宛にお送りいたしました。

第16期(任期:2025~2026年度)

運営委員・役員等

今回の定期総会により、今期の運営委員はこのメンバーに決まりました。各運営委員の所属部は、運営委員会で右記の通り、決定しました。



- ◆代 表: ◎ 大塚 麻子
- ◆副代表: ◎ 青柳 あけみ
◎ 矢吹 静子
- ◆会 計: ◎ 田邊 みつ子
◎ 川井 久子
- ◆庶 務: ◎ 井上 ふみ子
榎本 文子
松木 久美子(新任)
- ◆事業部: ◎ 我妻 澄江
石山 優子(新任)
関根 玲子
- ◆広報部: ◎ 横田 正基
桑田 美佳
眞庭 成子
- ◇会計監査: 長谷川 久子
山野 汐美

※敬称略。

◎印は総務会メンバー。それ以外は五十音順。

2025年度 多様性社会推進課職員&スペースゆうスタッフ

4月から多様性社会推進課の職員およびスペースゆう専門スタッフの体制が以下の通りとなりました。

なお、『ねっとわーく』の担当には変更がありません。

総務部

こ み やま しゅういち
小宮山 庄一 部長

スペースゆう専門スタッフ

なかうち ひろし
中内 寛さん※
かわしま さとこ
川島 聡子さん
よしざわ あやか
吉澤 綾香さん
とおやま きわこ
遠山 岐和子さん
ふくだ さいこ
福田 彩子さん

※は『ねっとわーく』担当

多様性社会推進課

こ いずみ かついちろう
小 泉 勝一郎 課長(新任)
あ さい たかゆき
浅井 隆之 主査※
しんじょう ま り こ
新庄 真理子 主査(新任)
やまもと けんすけ
山本 顕介さん
ありもと ろう
有本 朗さん
みやはら ま い
宮原 麻衣さん



総会開会時の職員・スタッフ紹介の様子

多様性社会推進課長から

多様性社会推進課長
スペースゆう所長 小泉 勝一郎

この4月に、多様性社会推進課長・スペースゆうの所長に着任いたしました小泉勝一郎と申します。「北区男女共同参画推進ネットワーク」の皆様には、4月に行われました総会後にご挨拶の機会を頂戴いたしました。本当にありがとうございます。また、その際には皆様にとってもあたたくお迎えいただきました。心からお礼申し上げます。男女共同参画社会の推進に向け全力で取り組んでまいりますので、あらためてどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、先日参加させていただきました「ねっとわーくまつり」では、多数区民の方が来場され、皆様それぞれが趣向を凝らしておもてなしをされており、私自身、何周回しても全く興味が尽きないほど、ご来場者の皆様と一緒に楽しませていただきました。これもひとえに、当日に至るまで皆様が入念に準備を重ねていらっしやった成果と存じます。本当にありがとうございます。

『ねっとわーく』の皆様は、男女がともに社会の様々な場面で生き生きと活躍し、だれ一人取り残されず尊重され能力を発揮することができる社会の実現に向け、日々、取り組んでくださっている尊い担い手であると認識しております。引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

会員交流会

コロナ禍で長らく中止していた「会員交流会」でしたが、昨年の「設立30周年を祝う会」に続き、今回、無事開催することができました。総会後のひと時、会員間の親睦を深める機会となりました。



挨拶する小泉新課長



以前の立食形式から着座形式になりました

19日

「困難な問題を抱える女性たち」SRHRをめぐる「を聴いて考えたこと」

森田 千恵

講演会に参加するまでは、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」について、ざっくりとした内容を知っていたものの、いったい何が問題なのか、具体的に想像できていませんでした。

白井さんの講義が始まってすぐに、まずは未成年、就学中、あるいは困難な状況での妊娠とその後の女性への支援が必要とされていることがわかりました。予想外の妊娠、あるいは望まない妊娠をした女性への支援は難しく、なぜ妊娠に至ったか、今後どのように生活していきたいかなどについても、当事者の女性自身が話そうとしないこともあり、支援が届きにくい日本の状況を知ることができました。私たち市民にとっても、そういった状況の女性は、実は見えていない、インビジブルな存在です。存在するのに、一般の人々には見えないところにいる、そんな女性たちなのだと感じました。そもそも日本では、まだ包括的性教

育が十分に行われておらず、妊娠した女性を選べる選択肢も少なく、モーニングアフターピル、中絶、出産後の養子縁組等についても、諸外国に比べ、利用しにくいことが問題となっています。

では、いったいどうしたらいいのでしょうか。やはり第一には、妊娠してすぐに相談できる相談機関、相談先を増やすことと、その情報を広く周知していくこと。民生委員のように市民に身近な方が相談に乗れるといいでしょう。また、LINE、X、インスタ等のSNSで気軽に相談できることも効果があると思われます。まずは入り口を増やしたらいいのではないのでしょうか。

さらに、悩みをもった女性が気軽に立ち寄り、ほっとできる場を作っていくことも必要だと思つのです。何かコンセプトを決めないと、作るの難しいかもしれませんが、「女の子のためのふらっとサロン」という名前で作って

みてはどうでしょう。たとえば「子ども食堂」と同じ場所で、そういった女の子たちが立ち寄れるサロンを運営してはどうでしょうか。産婦人科医、看護師、社会福祉士など専門家の協力を得られるとなおいいでしょう。

最近、「わたしカフェ」という場を見つけてきました。15歳から24歳の女の子のための居場所で、公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパンが運営しています。北区でこのような場が作れると理想的だなと、いま考えています。



講師の白井さんは、『ねっとわーく』団体会員「ピノッキオ」の活動にも参加されている



20日

映画上映会「在りのままで咲け」「在りのままで進め」とトークに参加して

天田 恵子

「在りのままで咲け」は、子育てしながら女優の仕事で大きなチャンスをつかもうとした由紀子が、夫から冷たく突き放されたところから始まります。助けを求めた友人からの「夢があるママが、一番かっこいいんだよ」という言葉に励まされて、映画の撮影に。遅く帰宅した我が家に居たのは鬼の形相をした義母。「幼子をほったらかして、このざまは」と激しくなじって家から閉め出しました。鍵までかけられ由紀子は失意に落とされます。子を持つ女性性は夢を諦めなくてはいけないのか、価値観が今も変わらないと怒りがこみ上げた瞬間、場面が一転。これまでの話は映画の撮影だというどんでん返しに、わたしは救われました。

「在りのままで進め」は、子育てと夢を両立させようとする京華と女優を続けるマコ、映画監督になる夢を持つ美奈のお話です。

オーディションを受ける二人の迫真の演技は圧巻だったにもかかわらず落

選。起用されたのは、演技力は劣るがやや名前の売れているという若手女優でした。商業映画の世界の厳しさがわかりました。オーディション後、二人を追いかけた助監督の美奈が「素晴らしかったです」と熱く思いを伝えたのが印象的でした。伝えることは人と人をつなぐ最良の手立てです。言葉の力の大きさを感じました。

この三人で映画を作る展開では、今は出来る範囲でやっていくという道を



トークの様子。中央が水村さん、右が松本監督

選び、クラウドファンディングを取り入れて映画を完成させたことに拍手を送りたいと思います。

トークでは、水村さんが「石はどんな形であれ存在していることは平等であり、在りのままの姿は素晴らしい」と話されました。

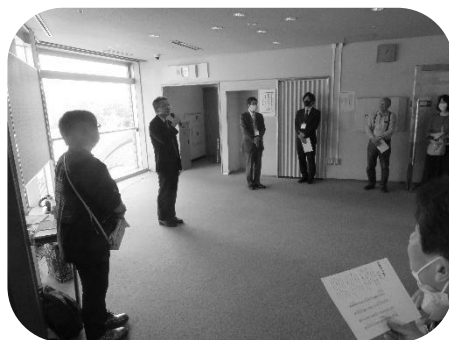
松本監督の「魅力的に生きている人、輝いている人の傍にいと周りの人たちが自ずと変わっていきける。三人の姿から皆さんにまで化学反応が起こっていききっかけになってほしい」というメッセージが胸に響きました。上映会に参加し、自分の生き方を在りのまま肯定して自信を持っていこうと前向きになりました。

北区の岩淵水門や飛鳥山公園などの映像に、北区に住む私は、うれしい驚きを感じ、幸せな時間でした。

若い人たちが夢を持って生きられる社会を築いていけるように、皆で考えていきたいものです。

「ねっとわーくまつり」の充実した企画は、参加者に考える機会を作ってくれます。今後大勢の方々が集ってほしいと思います。

オープニングには副区長にお越しいただきました。



20日のドームホールでは、活動紹介とステージ発表を開催。
活動紹介は「新日本婦人の会」「城北演劇を観る会」「テイト微研」、ステージ発表は「東京北区ケンハモサークル」「ミュージックベルの会」「栗原バンド」が参加。



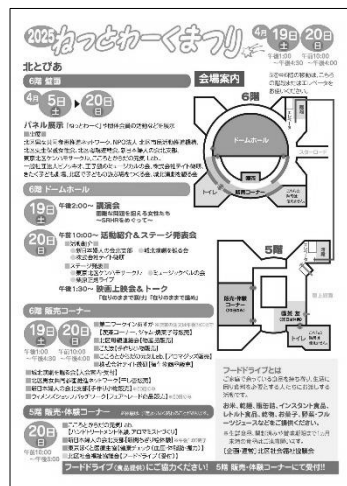
【右】実行委員会での提案を取り入れ、会場案内を掲示しました。

【左】北社協の「フードドライブ」も定着しました。



5階体験コーナーでは、「こころとからだの元気Lab.」がハンドトリートメント、「新日本婦人の会」のちぎり絵、「東京ほくと医療生協」の健康チェックなども。

6階の販売コーナーも盛況。展示コーナーでは、『ねっとわーく』設立30周年の展示。団体会員それぞれの展示も、各々工夫を凝らした特徴的な展示を行っていました。



第28回おちやのこ祭祭に参画して

プロジェクト担当 田邊みつ子

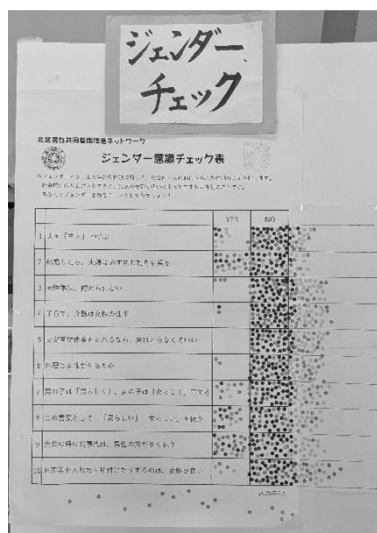
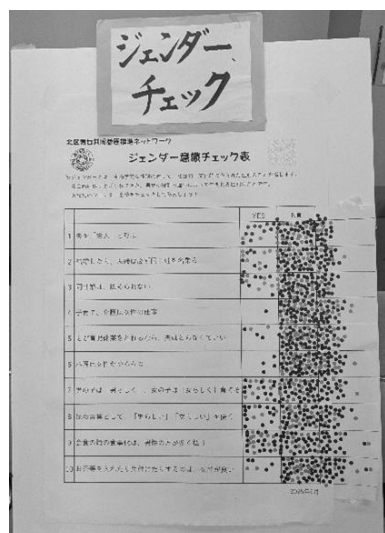
6月14、15日に「おちやのこ祭祭」が滝野川会館で開催されました。

『ねっとわーく』も今年は「ジェンダー平等社会をめざしてージェンダーチェックと国産杏の販売」と28文字アピールをして参画しました。

ジェンダーとは、生物学的な性別に対して、社会的・文化的に作られた性別のことを指します。社会的に作りあげられてきた、男女の役割の違いによって生まれる性別のことです。今年はジェンダー意識チェックを中心とし、10項目の設問について、【YES】か【NO】かにシールを貼って、意思表示をしてもらいました。積極的に声がけた甲斐もあってか、2日間で予想を大きく上回る160人以上の方が参加してくれました。

「ジェンダーという言葉はよく聞くが、自分の心の内面の価値観はどうかシールを貼って採点してみよう。」と参加してくれた女性。「塾で教わっているから、分かっているよ。」と、自信満々にシールを貼っていた小学生。いろいろな立場の方が参加してくれました。

ジェンダーチェック表の簡易版にシールを貼っていただいたことによって、ジェンダー意識に多くの方が関心をもってくれたことが大きな成果でした。



シールが貼られたジェンダー意識チェック表。左が14日で、右が15日のもの。途中で丸シールが足りなくなり、カラフルな仕上がりに。

国産干し杏のバック販売は今回も好評でした。杏目当ての常連客も多く、開場時間前に来る方も。



今回、新企画で行ったジェンダー意識チェックのシール貼り。幅広い年代の方が参加されました。

コラム

都議会議員選挙、女性議員数は最多を更新！

今年の「おちやのこ祭祭」の開催は、折しも都議会議員選挙の告示期間中となりました。いつもは滝野川会館の全てのフロアを会場にしますが、2階が期日前投票所となっていたため使用できないなど、例年とは異なる制約もありました。

そして、「おちやのこ」の翌週22日は投票日でした。北区選挙区は3議席を8名の候補者が争う大激戦となりましたが、『ねっとわーく』会員の2名の女性候補者が当選を果たしました。

そんなこともあり、都議会127議席中、48名（性別非公表1名を含む）が男性以外となり、改選前を大きく更新しました。これで都議会の女性議員の比率は37.8%となり、全国の都道府県議会の中で最も高い数値を更新しました。ちなみに総務省の公表している全国の都道府県議会の女性議員の比率（昨年12月時点）は14.6%です。

北とぴあ前花壇の植え替え

まちづくりグループ

まちづくりグループの活動として、6月23日(月)に北とぴあ前にある平和祈念像の後ろの花壇の植え替え作業を行いました。夏に向けてマリーゴールド(黄・オレンジ)290株、松葉ボタン150株、サルビア48株を植えました。



当日は日差しに恵まれましたが、風が強く、土ほこりを被りながらの作業となりました。

まちづくりグループではご協力していただける会員をお待ちしています。

ジェンダーギャップ指数、最新は118位

世界経済フォーラムが、6月12日に2025年版の「ジェンダーギャップ指数報告書」を発表しました。

日本は148カ国中118位で、前年からの横ばいとなりました。総合指数は0.666で、前年(0.663)からわずかに改善しています。

分野別では、経済分野の指数は改善してきていますが、相変わらず政治分野での改善が進まず、特に女性閣僚の割合が前年の25%から10%に下がったことが、数値を下げる要因となりました。

◎今年と昨年の日本の指数と順位

分野	2025年		2024年	
	指数	順位	指数	順位
総合	0.666	118位	0.663	118位
経済	0.613	112位	0.568	120位
教育	0.994	66位	0.993	72位
健康	0.973	50位	0.973	58位
政治	0.085	125位	0.118	113位

今後の事業開催予定

●9月14日(日)

スマホ講座 中級②

午前10時～11時30分

スペースゆう 多目的室AB

内容は、Googleマップ(道案内)、チャットGPT、日程調整、写真加工などを予定しています。

●2025年11月29日(土)

消費生活フェア参画

●2026年1月頃

区議との懇談会

●開催時期未定

学習会

詳しい情報はチラシなどでご確認ください。

学習会や区議懇の内容などに、ご意見・ご希望があれば、運営委員やメールなどでぜひお寄せください。

掲載していない活動が新たに企画されることもあります。

会報「扉を開いて」第90号

発行日：2025年7月24日

発行：北区男女共同参画推進ネットワーク

代表 大塚 麻子

ホームページ：<http://kitakudanjo.tokyo/>

メールアドレス：network@kitakudanjo.tokyo

印刷所：(有) 青雲堂印刷



*編*集*後*記*

『ねっとわーく』も31年目(第16期)に入り、運営委員も広報部も新メンバーでのスタートを切りました。今期もよろしくお願いいたします。

今年は戦後80年の節目となりますが、かつてとは違う意味で、「もはや戦後ではない」のかもしれない。(横田)

編集：広報部 横田 正基
桑田 美佳 眞庭 成子

次号は2025年11月に発行予定です。

・現在会員数 団体24、個人63名、賛助1名